【様式】

東京都武蔵野市 端末整備・更新計画

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
① 児童生徒数	8,496	8,460	8,377	8,240	8,135
② 予備機を含む整備上限台数 (予備機を含む)	9,770	9,729	0	0	0
③ 整備台数(予備機除く)		8,460			
④ ③のうち、 基金事業によるもの		8,460			
⑤ 累積更新率	0.0%	100.0%	101.0%	102.7%	104.0%
⑥ 予備機整備台数		1,269			
⑦ ⑥のうち、 基金事業によるもの		1,269			
⑧ 予備機整備率	#DIV/0!	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%

※①～⑧は未到来年度等にあつては推定値を記入する。

(端末の整備・更新の考え方)

本市において、市立小・中学校の児童・生徒が現在使用している学習者用コンピュータの大多数は令和2年度に購入しており、令和7年度末に5年間の使用期間を終了する。第2期端末については、令和8年度当初から使用できるよう、令和7年度中に整備を完了する。

(更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について)

○対象台数：9,145台

○処分方法

- ・使用済端末を公共施設や福祉施設など地域で再利用：0台
- ・小型家電リサイクル法の認定事業者にて再使用・再資源化を委託：8,845台
- ・資源有効利用促進法の製造事業者にて再使用・再資源化を委託：0台
- ・その他（リース業者へ返却）：300台

○端末のデータの消去方法 ※いずれかに○を付ける。

- ・自治体の職員が行う
- 処分事業者へ委託する

○スケジュール（予定）

- 令和8年4月 処分事業者 選定
- 令和8年4月 新規購入端末の使用開始
- 令和8年5月 使用済端末の事業者への引き渡し
- 令和9年2月以降 リース期間満了後に業者へ返却

○その他特記事項

端末再資源化の業務について、他の業務と一括して調達するか、もしくは単独で調達するかが未定のため、上記スケジュールについては変更する可能性がある。

(「⑤ 累積更新率」が令和10年度までに100%に達しない場合は、その理由)